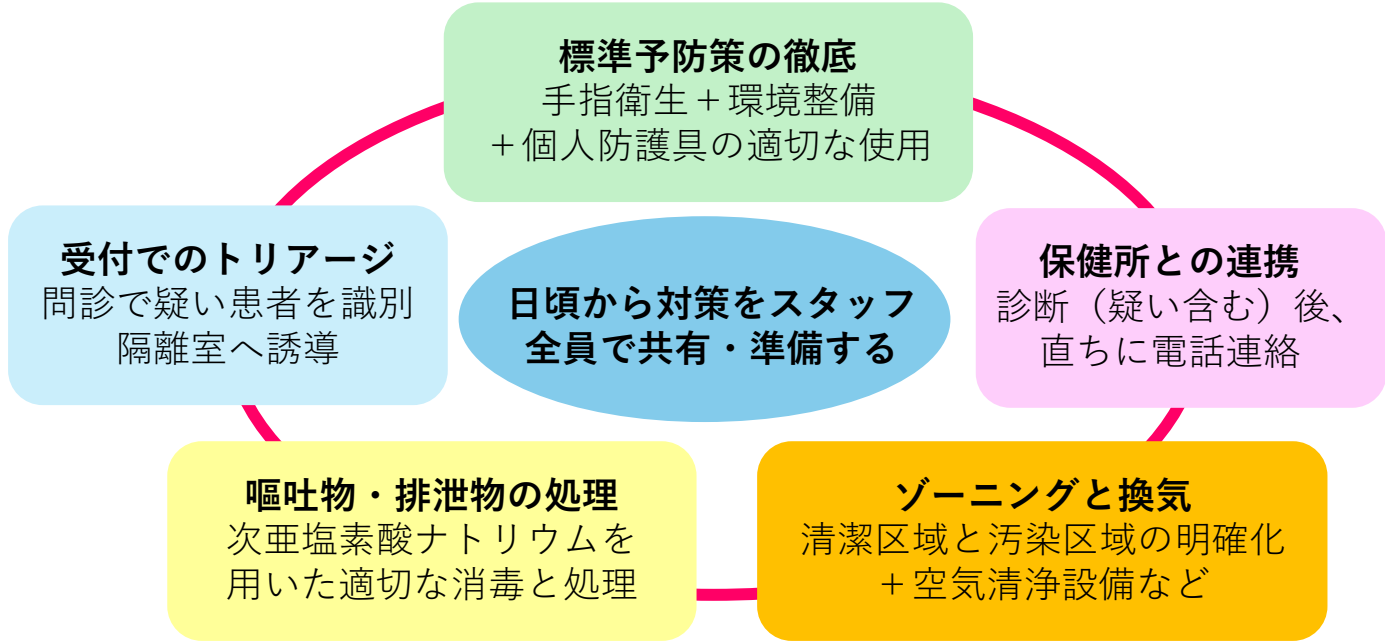


夏季から秋季は食中毒の流行期です。本号では、院内での感染対策と、患者・家族への自宅療養指導について解説します。※基礎知識については令和5年6月号もご確認ください。

● 診療所等における感染対策について



● 患者さんやそのご家族への自宅でのケアや二次感染防止指導

脱水予防と経口補水療法

- ・無理せず、OS-1®などを脱水予防のために少量ずつこまめにとる
- ・カフェインを含む飲料は下痢を助長させるため控える

二次感染を防ぐための衛生管理

- ・石けんと流水による手洗いの徹底、タオルの共有を禁止する
- ・症状のある家族は調理しない

ペットボトルの
キャップ2杯分
が約10ml

嘔吐物・排泄物の処理

- 処理時は使い捨て手袋とマスク着用し、適切な濃度の塩素系漂白剤での消毒
- ドアノブ、手すり、衣類は0.02%：2ℓの水 + 10mlの塩素系漂白剤
 - 排泄物など直接汚染した場所は0.1%：500mlの水 + 10mlの塩素系漂白剤

再受診のサインを説明

血便、尿量の減少、意識障害・痙攣、激しい腹痛が出た場合は、速やかに再受診するよう説明する

群馬県感染症連絡協議会HP(<https://www.gunma.med.or.jp/kansen/>) から、手指衛生や吐物処理の手順書をみるすることができます。ぜひご活用ください。